

# たかしょう

## 卒業に向かう6年生

6年生は、11月に卒業アルバムの写真撮影をおこないました。クラブ活動、委員会活動、学級写真、グループ写真、個人写真の撮影です。卒業文集用の原稿も書いています。きっと小学校生活6年間を振り返りながら書いていくことでしょう。年も明ければ、卒業式のことも話題に上がってきます。

本校の6年生は毎年すばらしいリーダーシップを発揮してくれます。キッズファミリー班(たてわり班)では、1年生の面倒を見ながら全体を引っ張って活動を進めてくれます。誰かが困っていたら、すぐに誰かが手を差し伸べてくれます。教職員が困っていても、「手伝いましょうか?」と声をかけてくれます。頼もしい6年生です。でも、年が明けたら、もう「6年生」ではなく、「卒業生」と呼ぶ機会が増えてきます。教職員はこの卒業生たちの卒業を毎年心を込めて祝っています。立派に胸を張って卒業してくれる姿を想像しながら、残り3か月ほどをより一層ぐぐっと成長してくれるよう指導していきたいと思います。

## 子どものそうぞう力

12月10日～13日の期末個人懇談の期間に講堂で作品展を開催しています。1年生から6年生までの作品を一か所で見る機会は貴重です。この作品展では、いろいろな見方ができます。6年間の成長を感じら

れます。1年生のかわいらしい作品が、6年生になると技術的なことだけでなく、作品の奥深さを感じられるようになります。

また、学年にかかわらず、子どもの作品には感動させられます。子どもにしか作れない「芸術」が生み出されます。どうしてそんな発想ができるのだろう。どうしたらそんな表現ができるのだろう。作品の中には、子どもの考えたストーリーが込められているものがあります。保護者の方はぜひ、お子様に作品についての想いを聞いてみてください。作品が一層味わい深いものに見えてきます。子どもはみんな芸術家です。

## 谷川俊太郎さんを悼む

11月に詩人の谷川俊太郎さんが亡くなりました。国語の教科書にも必ず作品が掲載されます。1年生の物語文でレオ・レオ二作の「スイミー」が載っています。これは谷川さんが日本語訳をしています。6年生では、詩「春に」が出ています。

ことばあそびうたとしての詩もたくさん作っておられます。例えば、次の詩です。

「かっぱ」 谷川俊太郎  
かっぱかっぱらった  
かっぱらっぱかっぱらった  
とってちってた

かっぱなっぱかった  
かっぱなっぱいっぽかった  
かってきってくった

とても楽しい詩です。このように子どもたちを楽しく味わい深くことばに出会わせてくれました。これからも谷川さんの作品を読んでほしいと思います。